めぐみ厚生センター センターだより

第 366 号
発行　2018年7月15日

佐賀市緑小路1－3
社会福祉法人めぐみ厚生センター
めぐみ園　0952(34)7722
どりぃむ　0952(34)7727
E-mail　s-megumi@basil.ocn.ne.jp
富士学園　0952(63)0107
ウイズ富士　0952(51)0063
ピースハイム　0952(64)2012
E-mail　fuji-g@b2.bunbun.ne.jp
発行者　栗林恵一
印刷所　(株)古川総合印刷

ホームページURL　http://www.megumikousei-center.org/

「如己愛人」己の如く人を愛せよ！

久保田生命科学研究所　所長
医学博士　久保田　史郎

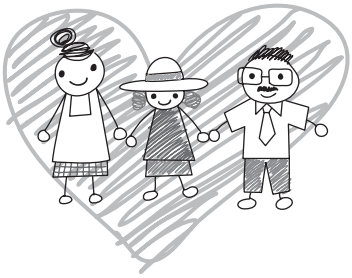
二〇一八年一月十五日発行『今の時を過ごす』栗林恵一理事長の言葉に「キリスト教の愛の精神で『隣人を愛し共に生きる』ということを基本理念として建てられている」とあります。私は理事長先生が書かれたこの言葉に感銘を受けました。では『隣人を愛し共に生きる』とは、どういうことでしょう。

『長崎の鐘』『この子を残して』等の著書で有名な永井隆博士の言葉に『如己愛人』（己の如く人を愛せよ）があります。永井博士は、昭和二十六年に四十三歳の若さで白血病を患いお亡くなりになりました。私が六歳の時、博士と親交のあった父（産婦人科医）に連れられ、闘病生活をされていた長崎の『如己堂』に永井先生をお見舞いに行ったことを今でも鮮明に覚えています。そこには小学校高学年くらいのお嬢様がおられました。死を悟られた永井先生は、お嬢様に「想い出に残る贈り物」を渡したいと考えておられたのでしょう。永井先生はお嬢様に着物を買ってあげたかったのではないでしょうか。しかし、戦後間もない時期に着物などあろうはずもありません。永井先生は痛みを我慢し、浴衣を着たお嬢様の姿を絵具で描かれ、それを最後のプレゼントにされたのです。今では新聞はカラーが当たり前になりましたが、『西日本新聞』の最初のカラー版が永井先生の浴衣を着られたお嬢様の絵だったのです。お嬢様は、本物の着物より、父親が描いてくれた浴衣を着た自分の絵に、父親の無形の愛に感謝され、親の形見として大事に保管されていたことでしょう。この新聞記事を見て、私は「愛とは心からの無形のプレゼント」と思うようになりました。

めぐみ厚生センターは、重い障害を負って生まれられた方々の施設だとお聞きします。私は、久住高原『童心回帰農園』の発達障害児支援学級〈草原のメダカ〉に関わり、そこでは、こどもの教育と同じで無形の愛が必要です。相手の長所を見つけ出すことも、長所をしっかり褒めることも、生きていく自信を持たせることも、長所を伸ばす環境をつくってあげることも、無形の愛なしではできません。人間は五感の動物と言われますが、五感（視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚）を育ててあげることも無形の愛が必要です。

盲目のピアニスト辻井伸行さんは、両親や仲間に支えられ、今では世界的なピアニストになられました。ご両親の愛は勿論、周囲の方々の愛情に育まれ己の長所を伸ばされたと思います。褒めてあげること、自信を持たせること、ヒトに優しい環境をつくってあげることなど、こどもに夢と希望を持たせることが無形の愛だと認識しています。人間は一人では生きていけません。こどもには多くの趣味を持たせ、趣味を通して友達を増やします。五感（感性）を育てるためには、家族愛と周囲の方々の協力なしではできません。

最後に、父が私に残してくれた形見は、「己の長所を知る事が成功の秘訣なり」の一枚の短冊でした。厳しかった父に、無形の愛を感じる今日この頃です。ヒトは力では動きません。ヒトを動かすのは愛の力です。



めぐみ園

プレーデイ！

♪そーらん・ソーラン♪♪～

五月三十日、曇り空の下プレーデイが開催されました。最初に行われたラジオ体操の後はソーラン隊が踊りを披露。日頃の練習の成果が出ていて、皆さんとっても上手でした。

その後、いよいよプレー開始！支援員やご家族と協力して探した借り物競争やたくさん玉が入った玉入れ、自分の背丈程ある大玉をバトン代わりにした大玉リレー、最後に職員が転倒するハプニングがあった大玉送りと、参加した利用者、ご家族、そして職員と笑顔、笑顔のプレーデイとなりました！

ご家族も一緒に借り物競争!!

花の日訪問！

めぐみ園では、六月十日(日)より、花の日訪問が始まりました。

これは、日頃お世話頂いている関係機関へ感謝を伝えるキリスト教の行事で、今年もめぐみ教会を始め、病院関係や市役所関係等々、全部で十二カ所を回らせて頂きました。

住吉派出所

東与賀町役場

タフセ理容店

めぐみ教会

いつもありがとうございます！

日帰りバス旅行！

新緑映える市村体育館！
とてもきれいに整備されていました

めぐみ園では、五月より日帰りバス旅行が始まりました。

五月二十二日と六月五日には、市村体育館で開催されている『肥前さが幕末維新博覧会』を見学。迫力ある映像の数々に皆さんびっくりされた様子！

大迫力の映像の数々！！

その後はホテルニューオータニにて昼食。落ち着いた雰囲気の中、おいしい料理を頂き、最後にモラージュ佐賀でお買い物。

短い時間ではありましたが、とても有意義な時間を過ごすことができました！

ホテルニューオータニでは、コース料理を楽しみました！

どりぃむ 地域活動センター

一日外出

映像の迫力に皆さん目を離せず！！

五月二十三日、どりぃむ・地域活動支援センター合同で一日外出へ出かけました。

まずジョイフルで昼食を済ませた後、『肥前さが幕末維新博覧会』へ！最新の技術が組み込まれた演出は迫力があり利用者の皆さんも興味津々。

カノン砲の前で満面の笑顔！

♪～さが！最高～♪

改めて佐賀の七賢人の偉大さを感じることが出来た一日でした。

富士学園・ウイズ富士

ふれあいフェスタ

五月二十六日(土)今年も待ちに待ったふれあいフェスタが開催されました。

今年は、玉入れやダンス、ご家族参加の競技「○×クイズ」など、少ない競技ではありましたが、利用者様やご家族皆様で楽しく参加していただき、アットホームなふれあいフェスタとなりました。

また、今年はふれあいフェスタ後には食堂でバイキングがあり、豪華な食事を堪能され、皆様とても楽しい時間を過ごされたようでした。

ウイズ富士

ヤフオクドーム野球観戦

六月二日(土)にＮＥＣネッツエスアイ㈱のご招待を受けて福岡ソフトバンク対横浜ＤｅＮＡ戦に利用者二十三名、職員十二名で行って来ました。

観戦前に昼食を済ませて『ヤフオクドーム』に向かい、十四時からのデイゲームで試合途中での退場となりましたが、楽しい一日となり良い思い出となりました。

80周年記念のヘルメットの前で記念写真!!

ピースハイム

ハッピーバースディ

四月二十七日にピースハイム富士Ⅱで、武富幸雄様のお誕生日会をしました。皆様からおめでとうの言葉をおご馳走に笑顔満開でした。

地域生活者社会見聞旅行

◇第一班　佐世保（日帰り）

六月二十一日(木)に佐世保方面に出かけました。

◇第二班　東京（二泊三日）

六月二十七日(水)から二十九日(金)に東京に行って来ました。

一日目は、佐賀空港から羽田空港へ向かい、浅草で昼食とショッピングを楽しんだ後、上野動物園に行きました。

二日目は、東京ディズニーランドで沢山のアトラクションやパレードを一日中楽しみ、三日目は、羽田空港で昼食を摂って、沢山のお土産と思い出を胸に帰路に就きました。

ディズニーランド！
イェーイ!!

ふれあい

救急法研修
（富士学園・ウイズ富士）

六月十三日(水)佐賀広域消防局北部消防署より二名の職員の方に来ていただき、救急法の研修を開催いたしました。

最初に救急法についての説明があった後、参加した職員全員が、人形を使用して心肺蘇生法を実際に体験して、ＡＥＤの使用方法を学びました。

緊急時に、職員が迅速に適切な対応が出来るように、今回の研修で学んだことを今後の支援に活していきます。

聖句

主に望みをおき尋ね求める魂に
主は幸いをお与えになる。
主の救いを黙して待てば
幸いを得る。
（哀歌第三章二十五・二十六節）

職員バレーボール大会
（めぐみ園）

六月九日(土)福祉協会主催のバレーボール大会に今年もめぐみ園職員有志チームが参戦！

十三名の奮闘むなしく三位となってしまいましたが、怪我もなく終わり一安心（笑）

試合では見事なチームプレーも見られ、応援に駆け付けた利用者・職員共々、めぐみ園らしい団結力を感じさせた試合となりました！

選手も応援団も
皆さんおつかれさまでした！

見事なチームプレイ！！

皆様ありがとうございました
（五・六月分）

◎めぐみ園へ

● 森永弘太様より　寄付
● 納富恭子様より　寄付
● めぐみ園家族会様より　寄付

《ご案内》

「ふれあい夏祭り」

めぐみ園
日時：七月二十四日(火)
　　午後六時～八時
場所：めぐみ園運動場
＊雨天中止

「交歓のタベ」

富士学園・ウイズ富士・ピースハイム
日時：八月四日(土)
　　午後五時四十五分～八時
場所：富士学園広場
＊雨天の場合、一部縮小して「ふれあい館」で開催します。

皆様お誘い合わせの上、是非ご参加ください。真夏の夜を楽しみましょう。

何でもコーナー

二〇二〇年の祝日

二〇二〇年に東京オリンピックが開催されますが、この年に限って祝日が移動します。開会式の前日にあたる七月二十三日に「海の日」が来て、開会式当日が「スポーツの日」（体育の日）になり、閉会式の翌日にあたる八月十日が「山の日」となります。祝日が移動することで、七月は二十三日から四連休、八月は八日から三連休になります。皆さん連休を有効に使いましょう。東京オリンピックは、七月二十四日から八月の九日までの十七日間、世界中のアスリートがメダルを掛けて試合に臨みます。

オリンピックの後にパラリンピックが、八月二十五日から九月六日の十三日間に競技を開催される予定となっています。

あとがき

ワールドカップに熱狂し眠れない日々が続きましたが、何かと体調を崩しやすい時期です。十分な食事・十分な睡眠を心掛け、健康管理をしっかり行い、これからの暑い時期に対処して行きましょう。